

2023年度

コバトン保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月4日（木）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月2日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきりあそぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子ども一人ひとりの気持ちを受容し寄り添うこと、子どもの発達を促す保育士の援助の方法を日々、振り返り全職員で取り組んだ。
子どもの発達援助	保育計画に基づき保育を行う中で、子どもの要求・発想から柔軟に変更し、子どもの意思を尊重する保育を心掛けた。子どもの豊かな発想に気づき、子どもが自分で選択できる場面を取り入れ自己肯定感を大切にした。
保護者に対する支援	送迎の際、担任だけでなく全職員が対応し、把握することで園全体で子どもの成長を共有した。保育参観・個人面談・行事を通して保育者と保護者の交流もできるように取り組めた。
保育を支える組織的基盤	全職員が主体的に発信できる環境、関係を職員会議、職場研修で実践しスキルアップを図っている。年齢を問わず、気付いたことを話すことで柔軟に対応し保育の質の向上につながっている。

総評
園の保育理念や保育方針を理解し、今年度は子どもの「健康」について取り組んだ。園での感染対策(消毒・手洗い)を行い感染症が流行ることなく、子どもも職員も健康に過ごせたことが良かった。感染症についての対応、嘔吐処理、熱性けいれんの対応を確認し子どもの命を守るとはどういうことかを深めることができた。感染症の情報を保護者の方にも情報周知し、職員も把握することで、子どもの体調把握に繋がった。学びから知識が増えることで疑問が湧き、調べたりマニュアルを見直す機会にもつながった。

